# 平成21年度 施策評価シート

# ◆総合計画における位置付け等

平成21年8月3日記入

基本目標	ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	26130	
政策名(章)	第6章 総合的、計画的な土地利用を進めます	評価担当局	企画財政局	
基本施策名(節名)	第1節 環境と調和し、地域の特性を生かした秩序ある土地利用の 実現	施策所管課	土地利用調整課	
施策名	公共の福祉を優先した土地利用の実現	課長名	山本 映弘	

#### 1 施策の目的

土地開発公社は、市の委託に基づき公共用地等を先行取得しているが、財政事情等により、当初の計画どおり先行取得土地の買戻しが進まず、保有期間が長期化しており、金利負担等で帳簿価額がさらに膨らみ、結果として、市の財政を圧迫し都市施設の整備の推進に支障をきたすおそれがある。このため、平成18年3月策定の「土地開発公社の経営の健全化に関する計画」(5ヵ年)に従い、抜本的な経営改善を図り、秩序ある都市環境の計画的整備の促進に寄与する。

### 2 施策の概要

標準財政規模に対する債務保証対象土地の比率を0.155以下とし、5年以上保有土地の簿価総額の比率を0.099以下とすることを目標に、土地開発公社の経営健全化の取り組みを進めており、現在のところ、各年度の達成目標を大きく上回っている。

3 事業質		(単位:千円)				
<b>左</b>	亚成10年度(決質)	亚成20年度(決質)				

年度	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	増減の主な理由
事業費	2,326,263	1,949,263	市貸付金の減額
人件費	805	805	
市民一人あたりの 事業費(単位:円)	3,295	2,745	

<sup>\*</sup> 年間の人件費はH19、H20ともに805万円/年とし、人口は、70.6万人(H20.4.1現在)、71.0万人(H21.4.1現在)とした。

## 4 成果·活動指標

順位		指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方(根拠)
2		標準財政規模に対する債務保証対 象土地の簿価総額の比率	(簿価総額-貸付金等充当額)/標準財政規模 	公社の経営の健全化に関する計画書に基づく、達成すべき経営指標の目標値である。
1	指標2	標準財政規模に対する債務保証対 象長期保有(5年以上)土地の簿価総 額の比率	(長期保有土地の簿価総額ー貸付金等充当額)/標準財政規模	公社の経営の健全化に関する計画書に基づく、達成すべき経営指標の目標値である。
3	指標3	供用済土地の簿価総額	供用済土地の簿価総額	公社の経営の健全化に関する計画書に基づく、達成すべき経営指標の目標値である。
	指標4			
	指標5			

	+ # 5 + # 5		H	19	H:	20	H	21	H	22	
	基準年	基準年 基準値		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1 (単位: %)	H17	H17 0.244		0.219	0.168	0.195	0.147	0.175		0.155	
総事業費・人員 (単位: 千円・人)											
指標2 (単位:%)	H17 0.188		88	0.170	0.131	0.142	0.105	0.120		0.099	
総事業費·人員 (単位:千円·人)	2325805		0.1	2,326,263	0.1	1949263	0.1				
指標3 (単位: )	H17 3,717.0		17.0	2,268	58	1,261	58	393		0	
総事業費·人員 (単位: 千円·人)											
指標4 (単位: )											
総事業費·人員 (単位:千円·人)											
指標5 (単位: )											
総事業費・人員 (単位:千円・人)	į										

5 市民満足	建度調査結果(平原	成21年度実活	施分)			Ž.	公共の福祉を	優先した土地	也利用の実	<b>买</b> 現	
<ul> <li>5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)</li> <li>○この施策の満足度は3.017で全119施策の中で112番目。</li> <li>○重要度は3.66で91番目である。</li> <li>○改善要望度は-0.011で67番目である。</li> </ul>					5	20代 30代 40代 50代 60代 70歲以上 北部 兩部 <b>津久井</b> <i>平均 3.892</i>	20/e ————————————————————————————————————	3.622 3.622 3.507 3.641 3.741 3.665 3.704 3.674 3.581 3.704 3.581	91位 86位 92位 86位 86位 90位 92位 87位 91位 		
6 1次評価	(2つの視点から	評価を行う)			2.0	2.5		3.0 <b>満足度</b> → 1	高い	3.5	4.0
視点の種類	評価基準・ 着眼点	評価点	H20評価点	または		前回(H20)評 先順位の最も				た理由	
有効性	各事業が果たす施策 に対する目標の達成 度合いを把握し、効果 の高い事業を実施し ている	4 2 1	<b>4</b> 2 1								
効率性	最小の経費で最大限 の効果を得られるよ う、効率的に事業を実 施している	4 2 1									
市民満足度	市民満足度調査によ り市民ニーズを把握 し、市民の立場に立っ て事業展開している	4 2 1	4 2 1								
	合計	9		評価結果に基づく A(9点以上) B(		:分(4項目の <sup>.</sup> 点・7点・6点・5			5)		1次評価 A
	、Bは、事務事業の			<b>筝事業を統合・廃</b> 」	止(	の方向					
	決策(現状または 市民満足度			)先行取得等の土	地	開発公社業系	外に対する	る市民の	認識が	低いこ	とが大き
市民満足度が低いのは、公共用地の先行取得等の土地開発公社業務に対する市民の認識が低いことが大 な要因と考えられる。このため、公社の業務内容を積極的に情報を開示し、市民に周知していく必要がある。											
解決策			ームページに	二土地開発公社野	<sup>ද</sup> ග	事業実績、決	は算状況を	掲載し、	市民个	▶情報	提供する
8 2次評価	及び意見(1次、2	2次で評価に	二相違がある	場合など、必要	:1=	応じて意見る	を記入)				
											2次評価
											Δ

\*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

3次評価

Α